



2022年3月22日

各位

会社名 **ダイコク電機株式会社**
代表者名 代表取締役社長 大上 誠一郎
(コード番号 6430 東証・名証第一部)
問合せ先 常務取締役管理統括部長 栢森 啓
(TEL 052-581-7111)

サステナビリティ基本方針の策定及び マテリアリティ（重要課題）の特定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に向けて、「サステナビリティ基本方針」の策定と、「マテリアリティ（重要課題）」の特定について決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

当社は、サステナビリティ活動を持続的かつ体系的に推進し、「中期経営計画 2022～2024」（2021年11月24日公表）に掲げる ESG や SDGs を重視した経営を推進するため、サステナビリティ委員会において「サステナビリティ基本方針」を策定し、「マテリアリティ（重要課題）」を特定しました。

全てのステークホルダーの期待に応えるべく、経営理念である「イノベーションによる新しい価値づくりを通じ、これからも一貫して持続的な成長を果たしてまいります」に基づき、中長期的な企業価値を創出してまいります。

1. サステナビリティ基本方針

ダイコク電機グループは、経営理念に基づく事業活動を通じて社会課題を解決しステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な社会の実現とグループの成長を目指します。

2. マテリアリティ（重要課題）

当社は、サステナビリティ基本方針のもと、5つのマテリアリティ（重要課題）を特定しました。

- ①地球環境への貢献
- ②人材活躍の推進
- ③イノベーションによるソリューション提供
- ④依存症への対応
- ⑤ガバナンスとコンプライアンスの強化

※詳細につきましては、添付資料をご参照願います。

以上



サステナビリティ基本方針 マテリアリティ(重要課題)

サステナビリティ基本方針

経営理念

イノベーションによる新しい価値づくりを通じ、
これからも一貫して持続的な成長を果たしてまいります。

サステナビリティ 基本方針

ダイコク電機グループは、
経営理念に基づく事業活動を通じて社会課題を解決し
ステークホルダーの皆さまとともに、
持続可能な社会の実現とグループの成長を目指します。

マテリアリティ（重要課題）

| ESG | マテリアリティ | 取組みテーマ | SDGs |
|----------|--|---|---|
| E | <p>地球環境への貢献</p> <p>事業活動による環境負荷の軽減を図ると共に、脱炭素社会へ寄与する製品サービスを提供</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス(CO2など)排出量の削減 ・省エネルギー対策 ・再生可能エネルギーの活用 ・廃棄物抑制、リサイクルの推進 ・グリーン製品サービスの提供 |  |
| S | <p>人材活躍の推進</p> <p>社員が個々の能力を最大限に発揮でき、働きがいのある職場環境・組織風土の改革を推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ・人材育成、社員教育の推進 ・働き方改革の推進 |  |
| | <p>イノベーションによるソリューション提供</p> <p>新技術へ積極的に取組み新たな価値を創造し、社会課題を解決する製品サービスを提供</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・AI、クラウドを活用した製品サービスの提供 ・DX、省力化、省人化につながる製品・サービスの提供 ・内作化による社内技術の向上 ・社内におけるDXの推進 |  |
| | <p>依存症への対応</p> <p>社会課題である依存症問題への対応、予防</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・依存症を予防する製品・サービスの提供 ・ホールの依存症対応に役立つ製品・サービスの提供 |  |
| G | <p>ガバナンスとコンプライアンスの強化</p> <p>不正を未然に防止する体制・監督機能を強化し、法令遵守や誠実・公平・公正な事業慣行を徹底</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・実効性の高いコーポレートガバナンス体制の追求 ・コンプライアンス行動基準の浸透・実践 ・情報セキュリティの強化 |  |

マテリアリティ（重要課題）の特定プロセス

